

SUZUKI GSX-R125/S125 ABS 機械曲 GP-MAGNUM サイクロン EXPORT SPEC 政府認証

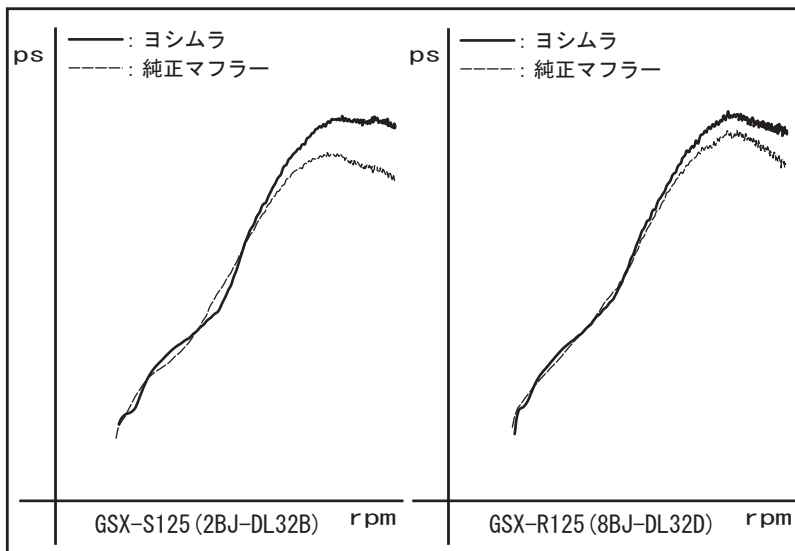
### 取扱説明書

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
- 作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。
- 本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

- ▲危険** 怠ると怪我につながる注意事項を示してあります。
- ▲注意** 怠ると部品の損傷等につながる注意事項を示してあります。
- 参考** スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

## 1. 適応車種及び諸元表

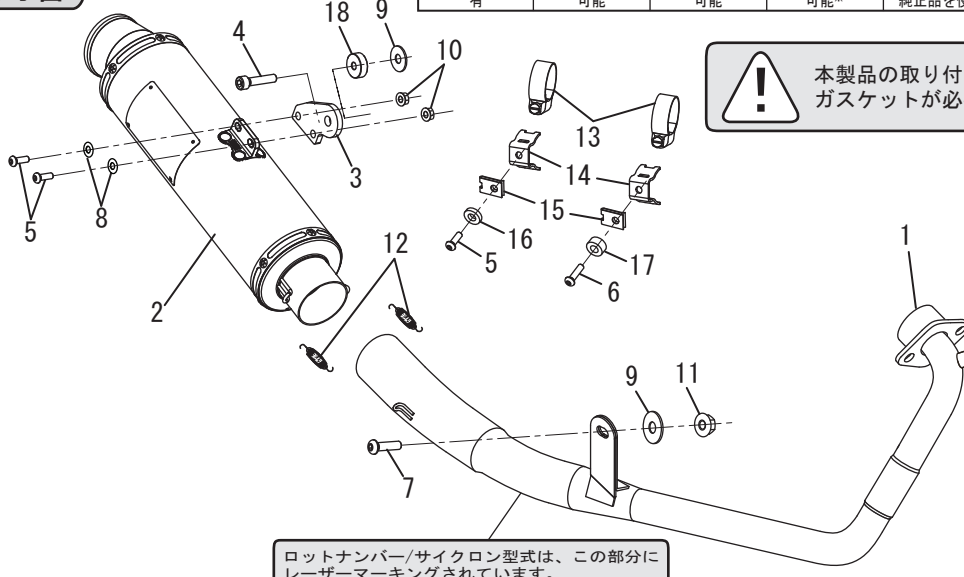
車名	SUZUKI GSX-R125/S125	
車両型式	2BJ-DL32B / 2BJ-DL33B / 8BJ-DL32D	
エンジン型式	CFA1	
認証番号	JMCA1022001226	
サイクロン型式	S525S77C1	
素材	SUS304 / Ti カーボン	
品番	ステンレスサイレンサー	: 110A-525-5U50
	チタンブルーサイレンサー	: 110A-525-5U80B
	カーボンサイレンサー	: 110A-525-5U90
重量	純正マフラー (2BJ-DL32B / 2BJ-DL33B)	: 5.6 kg
	純正マフラー (8BJ-DL32D)	: 5.6 kg
	ステンレスサイレンサー	: 3.5 kg
	チタンブルーサイレンサー	: 3.3 kg
	カーボンサイレンサー	: 3.2 kg



## 2. セット内容

触媒	オイル交換	オイルフィルター交換	センタースタンド	ガスケット	カウル加工	サイレンサーリメイク
有	可能	可能	可能※	純正品を使用	無	可能

※GSX-S125純正オプションのみ



ロットナンバー/サイクロン型式は、この部分にレーザーマーキングされています。

NO.	品名	数	品番	NO.	品名	数	品番
1	エキゾーストパイプ	1	111-525-5100	10	フランジナットM6	2	823-006-1000
2	サイレンサー (ステンレスカバー)	1	139-525-5U50	11	フランジナットM8	1	823-008-1250
	サイレンサー (チタンブルーカバー)		139-525-5U80B	12	マフラーズプリング (フローティング)	2	118-001-0000
	サイレンサー (カーボンカバー)		139-525-5U90	13	ホースバンド	2	855-209-2540
3	サイレンサーステー	1	161-524-0200	14	ヒートガードステー	2	161-43H-0010
4	キャップボルトM8×50	1	800-208-5050	15	クリップナット	2	82C-006-1516
5	ボタンボルトM6×20	3	803-206-4020	16	スペーサーカラー 6-16-5	1	860-006-1605
6	ボタンボルトM6×30	1	803-206-4030	17	スペーサーカラー 6-16-15	1	860-006-1615
7	ボタンボルトM8×35	1	803-208-5035	18	スペーサーカラー 8-26-10	1	860-008-2610
8	SUSワッシャM6×13	2	812-206-1310	※	スプリング取付工具	1	100-000-0000
9	平ワッシャM8×26	2	812-108-2600				

### 3. 取付方法

**⚠注意** ※作業時は部品を損傷しないよう注意して作業を行なって下さい。  
※ボルト、ナット締め付けの際は必ず規定トルクを守って下さい。  
ボルト、ナットの脱落・製品の破損の原因になります。

1. セット内容を確認して下さい。
2. サービスマニュアルを参照し、車両から右側サイドカウル（R125のみ）、アンダーカウルを外し、純正マフラーO2センサーのカプラーを外して下さい。  
次に、フレーム等を損傷しないように注意しながら純正マフラーを車両から取り外して下さい。外した純正ボルト、ナットは、マフラー取り付け時使用します。  
（FIG. 1, 2 参照）

3. 純正マフラーからヒートガード、O2センサーを取り外して下さい。  
次に、外したO2センサーを①エキゾーストパイプに規定トルクで締め付けて下さい。（FIG. 3 参照）

**⚠注意** 規定トルク O2センサー : 2.5 Nm

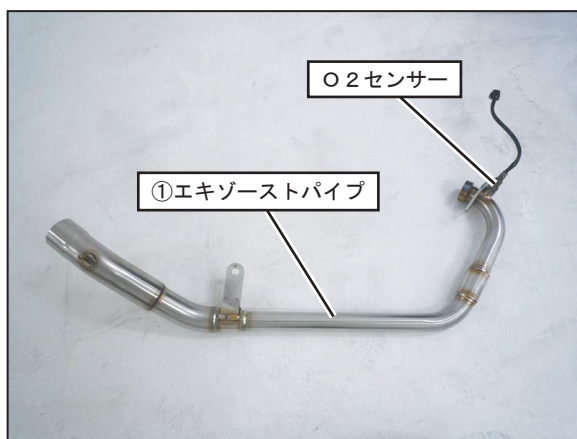


FIG. 3

4. エンジンの排気ポート部に取り付けられているエキゾーストガスケットを新品に交換し、①エキゾーストパイプを純正ボルトを使用して車両に仮締めして下さい。  
（FIG. 4, 5 参照）

**⚠注意** ガスケットは必ずメーカー純正品を使用して下さい。



FIG. 1



FIG. 2



FIG. 4

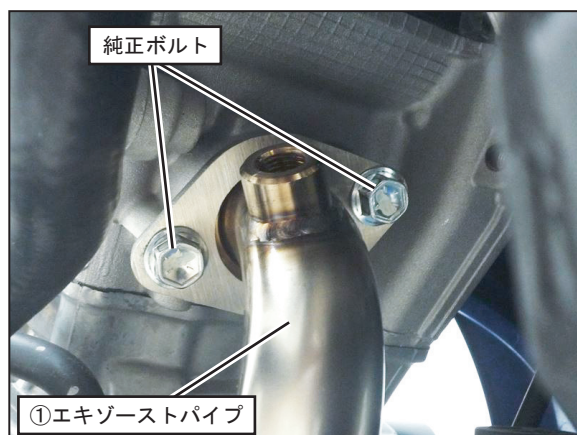


FIG. 5

5. 右側ステップ下側のボルトを外し、代わりに⑦ボタンボルトM8×35を締め付け、フレームの裏側で①エキゾーストパイプのステーを⑨平ワッシャM8×26、⑪フランジナットM8を使用して仮締めして下さい。  
(FIG. 6, 7, 8参照)

**△注意** 規定トルク ボタンボルトM8×35 : 23 Nm

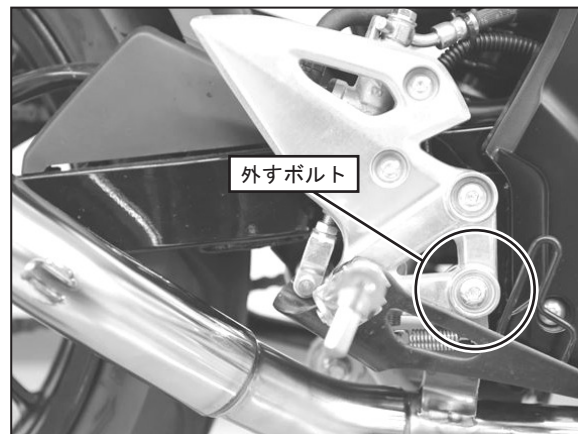


FIG. 6



FIG. 7

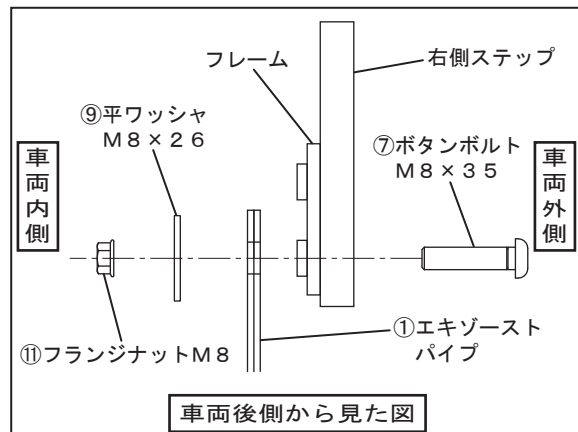


FIG. 8

6. 右側タンデムステップのボルトをタンデムステップが少し動く程度に緩めて下さい。(FIG. 9参照)

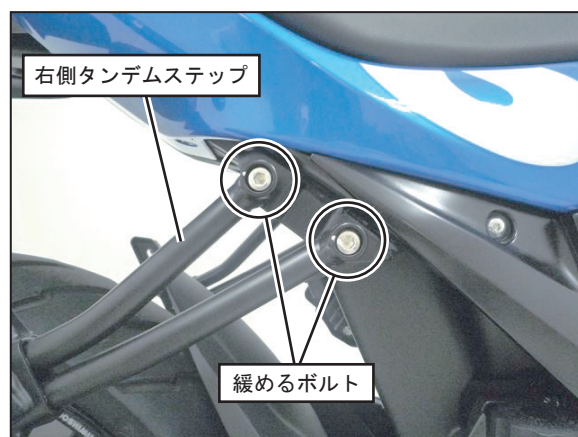


FIG. 9

7. ②サイレンサーに③サイレンサーステーを⑤ボタンボルトM6×20、⑧SUSワッシャM6×13、⑩フランジナットM6を使用して仮締めして下さい。  
(FIG. 10参照)

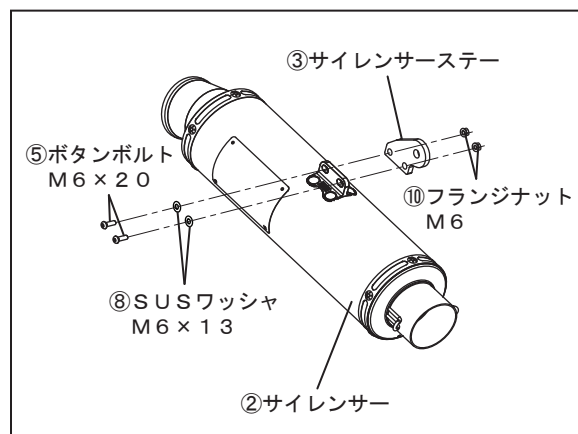


FIG. 10



8. ②サイレンサーを①エキゾーストパイプに取り付けてから⑫マフラスプリングを取り付けて下さい。  
(FIG. 11 参照)

**⚠危険** スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に充分注意して下さい。(怪我をする恐れがあります)

9. ②サイレンサーに取り付けた、③サイレンサーステーをタンデムステップの純正サイレンサー取り付け位置に④キャップボルトM8×50、⑨平ワッシャM8×26、⑮スペーサーカラー8-26-10、純正ワッシャ、純正ナット、純正カラーを使用して仮締めして下さい。  
(FIG. 12, 13 参照)

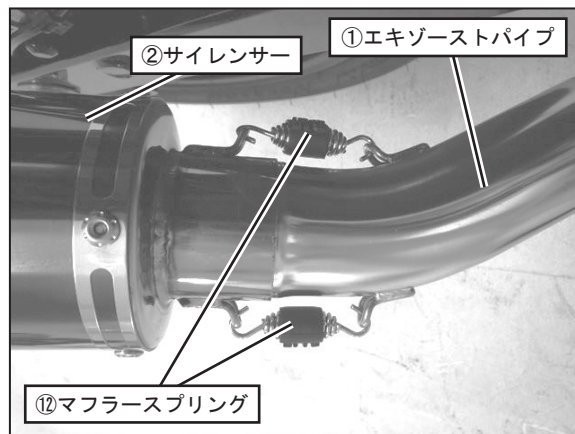


FIG. 11



FIG. 12

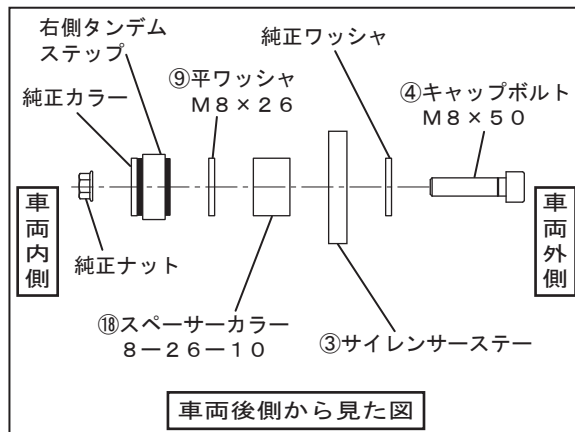


FIG. 13

10. サイレンサーの傾きや、車両とのクリアランスを調整し、仮締めしたボルト、ナットをエキゾーストパイプ→タンデムステップ→サイレンサーステー (M6) →サイレンサーステー (M8) の順に、規定トルクで締め付けて下さい。(FIG. 14 参照)

**⚠注意** 規定トルク

エキゾーストパイプ(フランジ)	: 15 Nm
エキゾーストパイプ(ステー)	: 23 Nm
タンデムステップ	: 23 Nm
サイレンサーステー (M6)	: 10 Nm
サイレンサーステー (M8)	: 23 Nm



FIG. 14

11. O2センサーのカプラーを取り付けて下さい。

12. 中性洗剤、ウエス等でマフラー全体を良く脱脂して下さい。指紋などが付着したままエンジンを始動すると、色ムラとなって残ってしまふことがあります。

13. 取り外したカウルを元に戻して下さい。

14. 暖気運転を行なって排気漏れが無いことを確認し、エンジンが完全に冷えてから各ボルトの増し締めを行なって下さい。

#### 4. 純正ヒートガード取付方法（8BJ-DL 32Dのみ）

15. ⑭ヒートガードステーに⑮クリップナットを取り付けてから⑬ホースバンドを取り付けて下さい。

（FIG. 15参照）

16. 手順15で組み付けた⑭ヒートガードステーを①エキゾーストパイプに仮締めして下さい。

次に、取り付けた⑭ヒートガードステーを手順3で取り外した純正ヒートガードが合う位置に調整し、ヒートガード前側は⑥ボタンボルトM6×30と⑰スペーサーカラー6-16-15を、後側は⑤ボタンボルトM6×20と⑩スペーサーカラー6-16-5を使用してヒートガードを⑭ヒートガードステーに仮締めして下さい。

（FIG. 16, 17参照）

#### 参考

※ホースバンド、純正ヒートガードの取り付け時や使用により、金属部品同士が擦れ、エキゾーストパイプに傷がつく可能性があります。ご了承下さい。

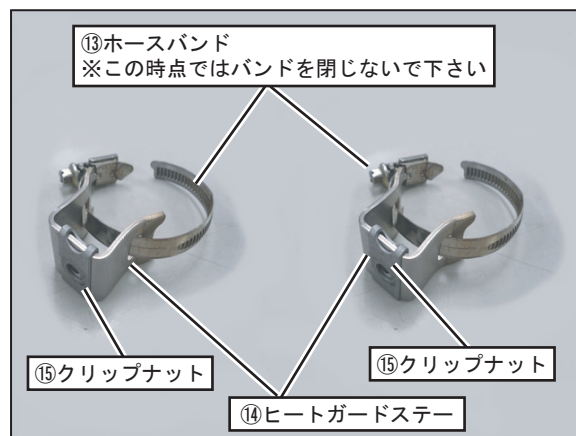


FIG. 15

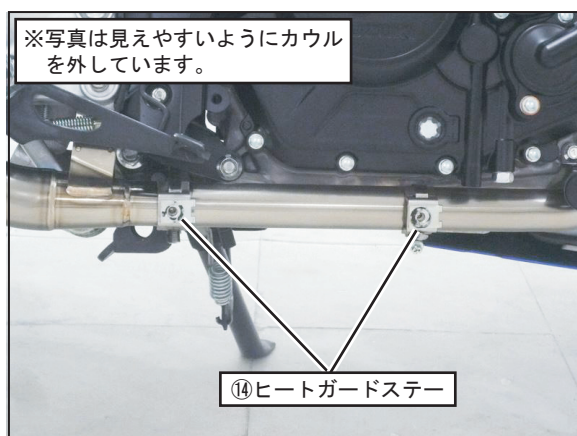


FIG. 16

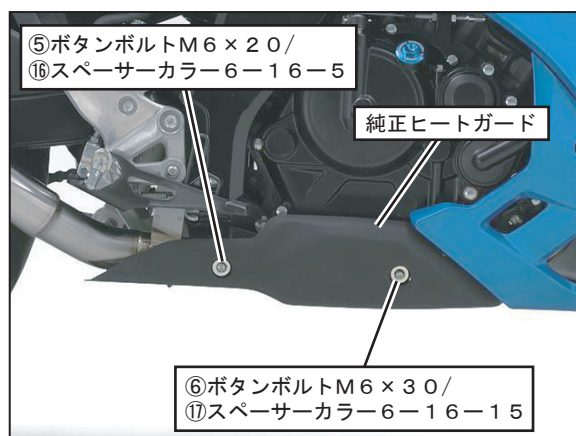


FIG. 17

17. ヒートガードをサイドカウルに合わせて位置を調整し、仮締めしたボルト、バンドを規定トルクで締め付けて下さい。（FIG. 17参照）

#### ⚠注意

※ホースバンドを締める際は、バンドがエンジン等に干渉しないよう向きを調整してから締め付けて下さい。

規定トルク	ボタンボルトM6×20	: 12 Nm
	ボタンボルトM6×30	: 12 Nm
	ホースバンド	: 3 Nm

※ホースバンドを締める際にトルクを掛け過ぎると、ホースバンドが破損する恐れがあります。



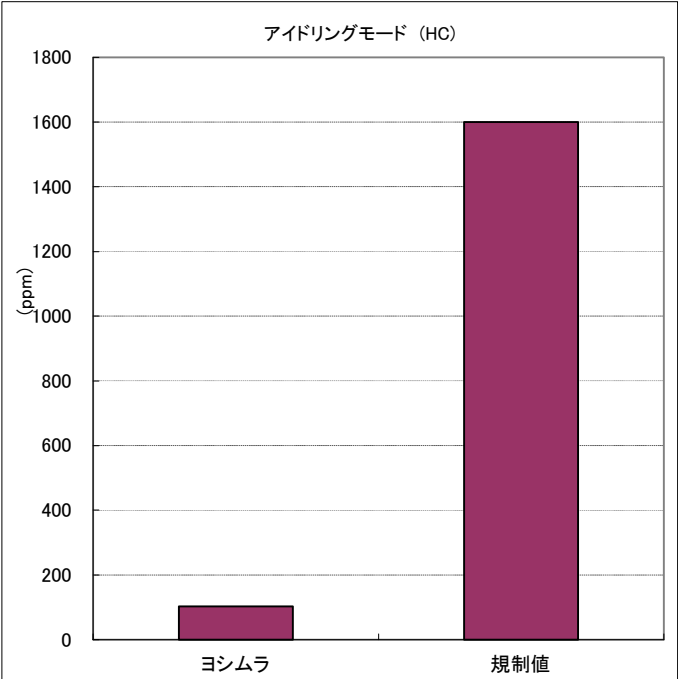
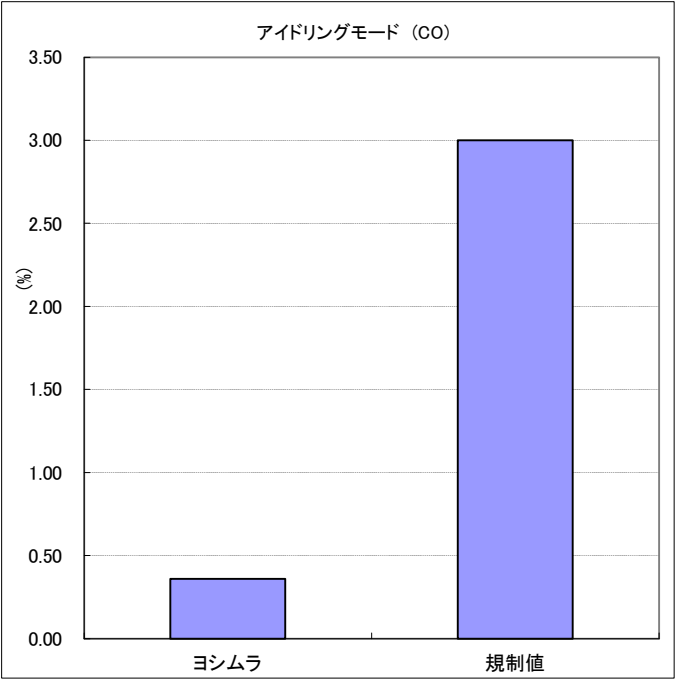
SUZUKI GSX-R125/S125 機械曲 GP-MAGNUM サイクロン EXPORT SPEC 政府認証

# 排気ガス、騒音データ表 (2BJ-DL32B)

## ○排ガス測定結果表

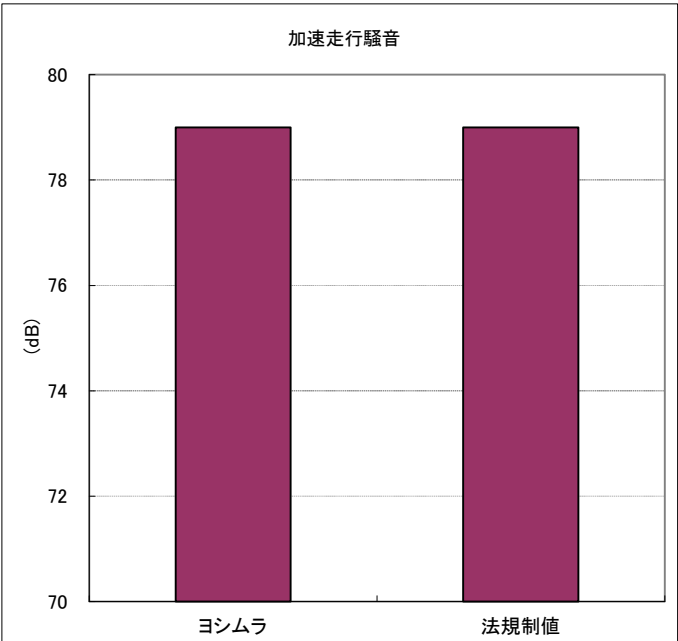
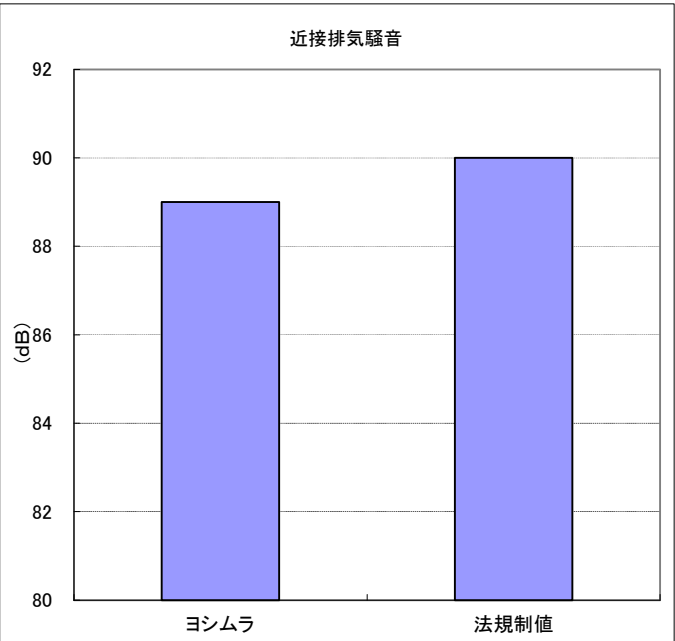
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.36	3.00
炭化水素HC(ppm)	103	1600



## ○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	89	90
加速走行騒音(dB)	79	79

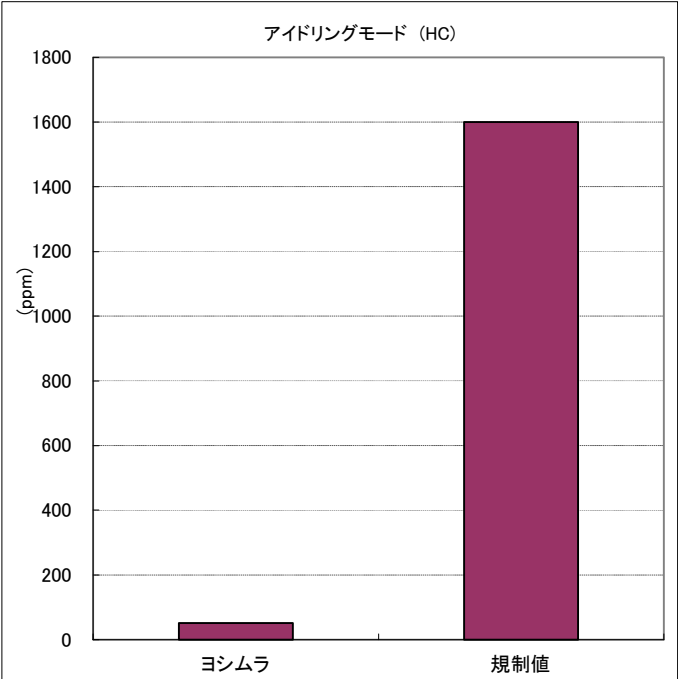
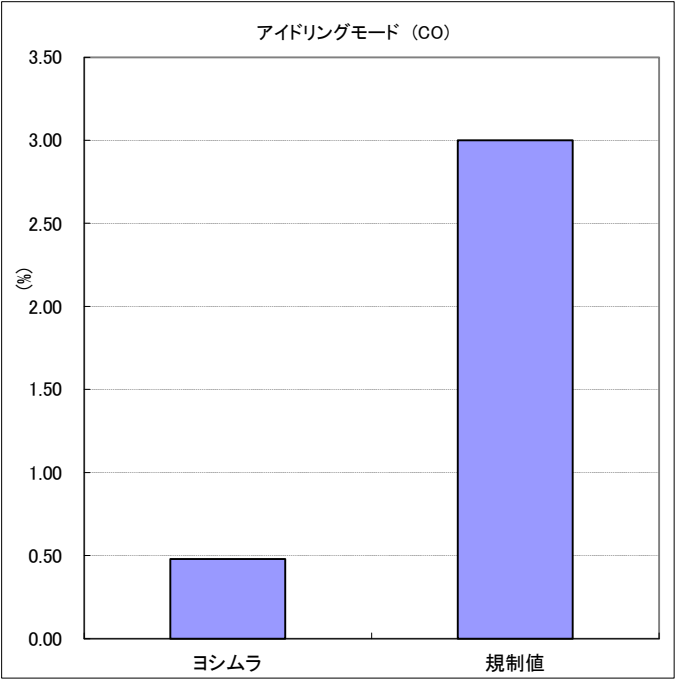


排気ガス、騒音データ表 (2BJ-DL33B)

○排ガス測定結果表

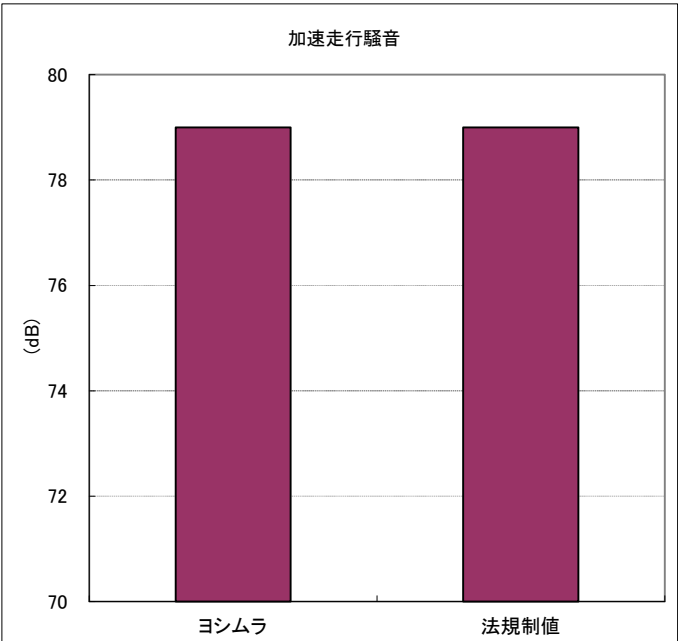
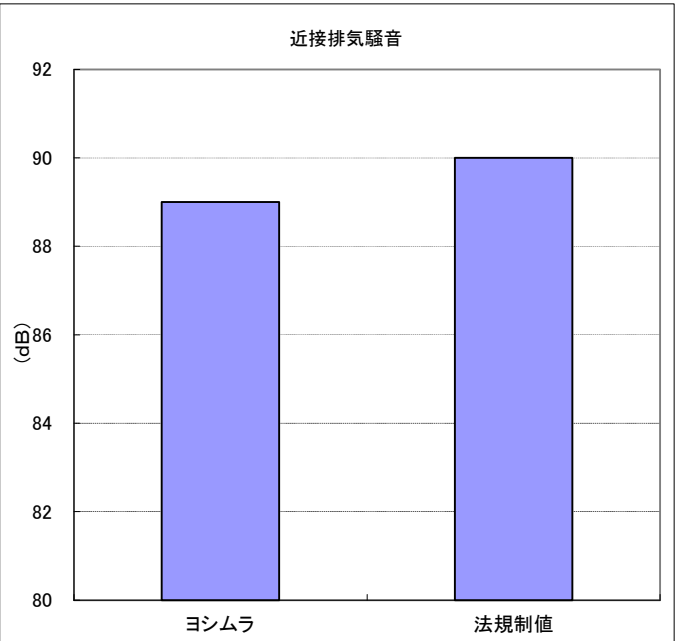
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.48	3.00
炭化水素HC(ppm)	52	1600



○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	89	90
加速走行騒音(dB)	79	79

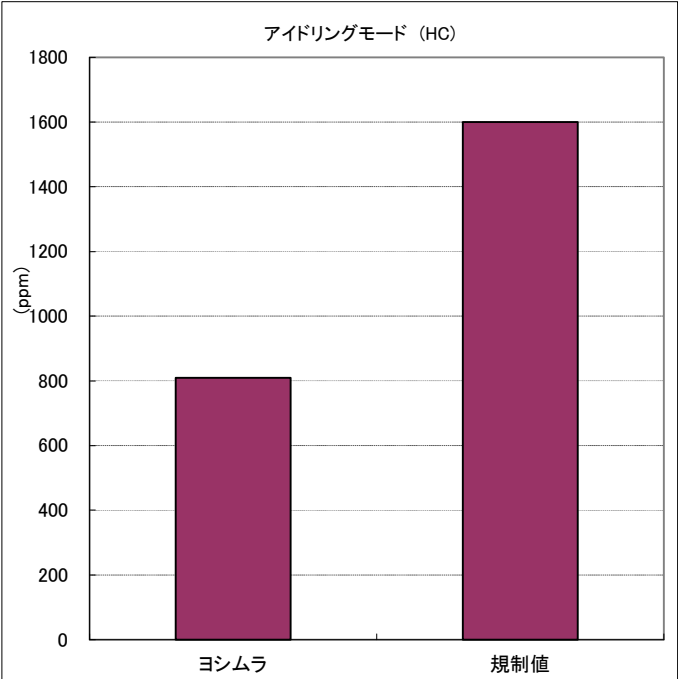
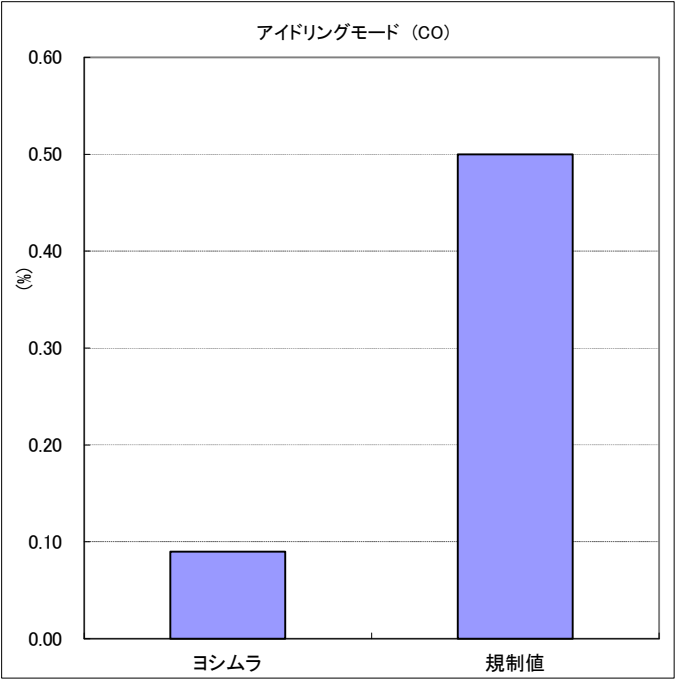


# 排気ガス、騒音データ表 (8BJ-DL32D)

## ○排ガス測定結果表

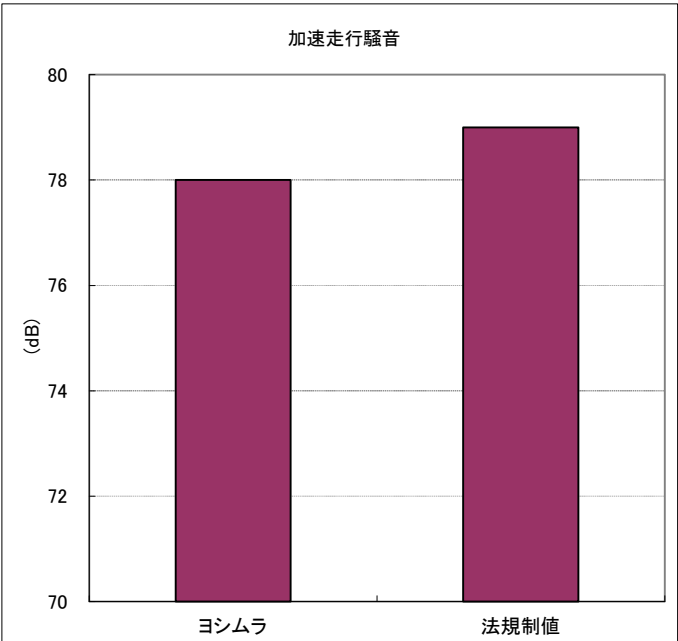
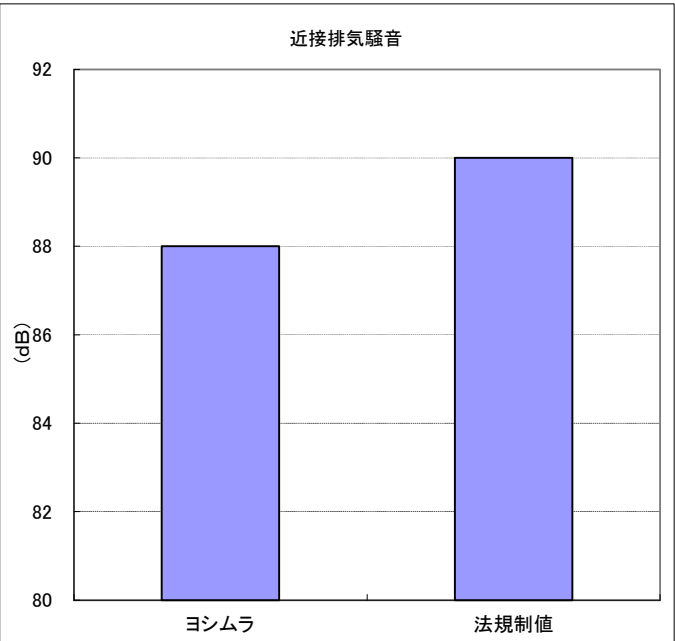
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.09	0.50
炭化水素HC(ppm)	809	1600



## ○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	88	90
加速走行騒音(dB)	78	79





## ⚠重要

※マフラーが車体と干渉したままエンジン始動や走行を行うと、火災や転倒などの事故の原因になりますので、マフラーが干渉していないことを充分確認して下さい。また、どうしても干渉が避けられない場合や、走行中に干渉しているような場合は、直ちに使用を中止し、(株)ヨシムラジャパンのお問い合わせ窓口までご連絡下さい。

## ⚠危険

※エンジンを始動する際は、換気の良い所で行うこと。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。  
※エンジン始動時は排気口に手を出したりしないこと。排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。  
※エンジン停止時に空吹きをして止めた場合、マフラー内部に未燃焼ガスが溜まり、着火してテールエンドより炎を発する場合があります。テールエンドの先には引火しやすい物が無いことを確認してからエンジンを停止して下さい。発火した炎により引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

## ⚠注意

※取付け、取扱いの不注意による返品は、固くお断り致します。  
※製品に加工、改造などは絶対行わないで下さい。それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。  
※他メーカー製品との適合は行っておりませんので、本製品取付け、使用時に不具合が発生する恐れがありますが、それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

### ●キャタライズドサイクロンについて

※本製品はマフラー内部に触媒を搭載した”キャタライズドサイクロン”です。環境問題を考え、排出ガスを低減しつつ従来のDSCサイレンサーと同等の性能を発揮する環境型高性能マフラーです。

### ●ヨシムラサイクロンのメンテナンス

※走行中アフターファイアーが激しく鳴る場合は、エキゾーストパイプ・テールパイプ等の差し込み部に、市販のマフラー用液体ガスケット等を塗りシーリングを行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。  
※マフラーが砂や泥で汚れてしまった場合は、マフラーが冷えてから水洗い等で汚れを落として下さい。定期的にし締めを行い、マフラー各部の点検(変形、キズ、車体との干渉等)を行って下さい。  
※エンブレム等の色落ちの原因になりますので、パーツクリーナー又は有機溶剤等の使用はご遠慮下さい。マフラーの脱脂等には、中性洗剤を使用して下さい。  
※サイレンサー内部の消音材は消耗品です。消音材が消耗すると音量増加のみでなく、出力の低下にもなります。消音材が消耗した場合は、リメイクサービスをご利用いただくことにより、長く安心してご使用いただけます。リメイク内容についてはお問い合わせ下さい。また、転倒などによる損傷の場合には、(株)ヨシムラジャパンに連絡の上、修理または損傷部品の交換等を行って下さい。

### ●2年保証について

※レーシングサイクロンを除く全ての一般公道用サイクロンは保証対象です。オンライン保証登録をして頂き、購入日を証明するレシート等を保管して頂くことにより、購入日から2年間の保証対象となります。  
※登録方法につきましては右記のQRコードから又は下記のアドレスよりオンライン保証登録のご案内ページを参照して下さい。  
※使用過程で発生した商品の变色・錆・塗装剥がれにつきましては、保証対象外となりますので予めご了承下さい。特に素材に鉄やアルミを使用した部分は、使用期間や走行距離にかかわらず錆が発生する場合があります。同様に塗装商品も使用期間や走行距離にかかわらず塗装剥がれが発生する場合があります。長く商品をご使用いただく為にメンテナンスが必要となりますが、ヨシムラジャパンでのリメイク/再塗装サービスもご用意しております。詳しくはヨシムラジャパンホームページをご覧ください。  
※製品については慎重に品質管理を行っておりますが、万一不良・不都合がありましたら保証規定に従い保証対応を致しますので、お買い上げ店又は(株)ヨシムラジャパンまでお知らせ下さい。

保証登録のご案内



アフターサービスのご案内



オンライン保証登録のご案内 : <http://www.yoshimura-jp.com/products/online-warranty.php>

### ●「政府認証マフラー」について

※本製品は、騒音規制に適合するため「近接排気騒音」「加速走行騒音」を測定して法規制値をクリアし、公的認証機関の試験に合格した「政府認証マフラー」です。  
※詳しくは、ヨシムラジャパン、販売店又はJMC A事務局までお問い合わせ下さい。

(株)ヨシムラジャパン 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

マフラーリメイクのご案内

・マフラーリメイクのご案内 ▶



- ・マフラーに関する技術的な質問、ご相談
- ・マフラーの修理や商品に関するご質問、ご注文

お問い合わせいただく際は、「商品名」「商品番号」「車種」「車両年式」「車両型式」をご確認の上、ご連絡下さい。

お問い合わせのご案内

